

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組※交付申請時に変更した場合は、これまでの取組状況	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
13109品川区	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	学校支援ボランティアに係る新規人材および後継者不足	品川コミュニティ・スクール学校支援ボランティア養成講座の実施 ・実施回数等：全4回程度（各回約2時間） ・対象者：区内在住者等 ・講義内容（例）：「品川コミュニティ・スクールの概要および学校を取り巻く環境について」 ・目的：品川コミュニティ・スクールの制度や学校支援ボランティアの活動に関する講義およびボランティア体験等を実施し、学校支援ボランティアの裾野を広げるとともに、将来的に学校地域コーディネーターとなり得る人材を育てる。	令和6年度は、令和5年度よりも参加者を増やすことができた。来年度は、さらに参加者が増えるように、引き続き周知方法を工夫する。また、講座修了者は教委の人材バンクに登録するとともに、各学校のボランティアの募集状況を周知し、学校につなげられるようにフォローアップしていく。	学校支援ボランティア新規登録人数の増加	学校支援ボランティア新規登録人数	26	人	40	26	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 新規登録人数は下回ってしまったが、本年度は登録したボランティアの質が高く、即戦力として学校現場で活躍してくださる方が多かった。 また、第1回の受講者から令和8年度学校地域コーディネーターが誕生したので、今後も継続していきたい。
13109品川区	②学校と地域の課題	05 その他	品川コミュニティ・スクールを持続可能な取組としていくために品川CSの在り方を検討していく必要がある	品川コミュニティ・スクール推進会議の実施 ・学識経験者、文部科学省CSマイスター、学校管理職、学校地域コーディネーター等が参加し、品川コミュニティ・スクールの在り方や法定化に向けた検討を行う。	今年度の重点の取組状況について報告し、来年度の方向性を検討することができた。検討した内容を来年度の取組に生かしていく。	品川コミュニティ・スクール推進会議の実施により品川CSの在り方や法定化に向けた検討を行う。	品川コミュニティ・スクール推進会議の実施回数	1	回	1	1	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 法定化に向けて、CSマイスター、管理職、学校地域コーディネーターから必要なことについてアドバイスをいただいた。
13109品川区	②学校と地域の課題	05 その他	教職員、保護者、児童生徒、地域住民等によるコミュニティ・スクールに関する情報共有の場の不足	品川コミュニティ・スクールDAYの実施 ・令和5年4月に施行されたことも基本法の理念を踏まえ、子どもの声を聴く機会をつくるため、校区教育協働委員に児童・生徒が参加する品川コミュニティ・スクールDAYを実施する。 ・「よりよい学校にしていけるためには」といった趣旨のテーマのもと、熟議を通して、品川コミュニティ・スクールの充実を実感、アピールするとともに、参加者が今後の地域と学校の在り方を検討する機会とする。	昨年度に引き続き、今年度も全校で実施することができた。実施後アンケートにおける「今後も品川コミュニティ・スクールDAYのような児童・生徒を入れた熟議を行っていきたいですか。」という質問に対して、95%以上の肯定的な回答があった。引き続き、各学校の実態に応じて、継続実施していく。	品川コミュニティ・スクールDAYの実施および報告書等の作成。	品川コミュニティ・スクールDAYの実施校。	46	校	46	46	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 品川コミュニティ・スクールDAYの導入から3年が経ち、学校にとっても、活用のアイデアが広がってきている。「探究学習」や市民科の一環としての活用が多く、地域の方や校区教育協働委員会の委員と児童・生徒が積極的に交流を行い、子どもたちにとっても自己有用感が高まっている一方、地域にとっても児童・生徒への理解に役立っていることを、ポートフォリオの実施によって把握しており、今後も継続していきたい。
13109品川区	②学校と地域の課題	05 その他	品川コミュニティ・スクールの成果指標の不足	品川CSポートフォリオの作成（30校で実施） ・品川コミュニティ・スクールの運営状態や成果を可視化し、今後の学校運営等の改善につなげていく。 ・品川コミュニティ・スクールに関わる方にアンケートを実施し、品川CSポートフォリオを作成し、熟議の議題とする。	今年度は15校で実施した。実施後アンケートにおける「品川CSポートフォリオの結果や熟議の内容は、今後の教育活動等の改善に生かされそうですか。」という質問に対して、9割以上が肯定的な回答であった。今年度の成果と課題を踏まえ、来年度は30校で実施する。	品川CSポートフォリオの作成。	品川CSポートフォリオの作成実施校数（モデル校実施）	15	校	30	30	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 今年度は30校で実施した。実施後アンケートにおける「品川CSポートフォリオの結果や熟議の内容は、今後の教育活動等の改善に生かされそうですか。」という質問に対して、9割以上が肯定的な回答であった。